

2020年5月吉日

ユニシス研究会
九州・沖縄支部 会員各位

ユニシス研究会
九州・沖縄支部事務局

2020年度『九州・沖縄支部研究活動』メンバー募集のご案内

拝啓 日頃よりユニシス研究会活動にご協力、ご支援をいただき厚くお礼申し上げます。
この度の新型コロナウイルス感染拡大により様々な影響を受けられ日々の活動の制限がある中努力を重ねられていることと存じます。

ユニシス研究会では、会員の皆様が日常業務の中で抱えている課題等を研究テーマとし、テーマに関する知見を取得するのみに留まらず、課題を克服すべく仮説を立て検証し研究活動成果を報告書として取り纏め発表していただく、会員同士や日本ユニシスグループ社員との情報・意見交換の場、また相互研鑽の場として、研究活動を推進しています。

ビジネスヒント発掘や企業の枠を超えた人材育成、新しい交流の場という目的に加え、新しい研究活動形態の体験と未来の研究活動への変革の第一歩としてご活用ください。

今年度の活動は、新型コロナウイルスの感染拡大による影響を考慮し、Web 会議を主体とした非接触型の活動が中心となる見込みです。従来 of 開催方法とは異なる運営となりますが、新たな活動形態へのチャレンジ、会議体への移動時間削減、テレワークによる参加のしやすさなどプラス面を積極的に活用し工夫しながらご自身の成長へつなげていただきたいと思います。

会員企業の皆様の是非とも多数のお申し込みをお待ち申し上げます。

敬具

【添付資料】

- I. 「九州・沖縄支部研究活動」メンバー募集・運営要項
- II. 2020年度研究活動テーマ案
- III. 参加申込書

* 会員様のご担当者の変更手続きが間に合わずに、以前に登録された方へお送りしてしまう場合がございますが、予めご容赦いただきますようお願いいたします。

以上

<添付資料 I >

「九州・沖縄支部研究活動」メンバー募集・運営要項

1. 参加資格:

ユニシス研究会会員企業(会員企業の方であればどなたでも参加いただけます。)

2. 研究テーマ:

テーマ案を別紙記載いたしますが、活動開始後メンバー間で協議の上、決定いただきます。

3. 参加費用:

(1) 参加費用は昨年度までのリーダー、サブリーダー対象の宿泊型サマースクールは実施せず、インフラ環境の提供、発表会開催関連費用として、本年度に限り特別価格として研究活動費1企業あたり通常 20,000 円を 10,000 円とさせていただきます。

※参加人数に係わらず、1企業あたり、今年度に限り 10,000 円。

※参加メンバー確定後、「連絡責任者」様へ参加費用をご請求させていただきます。

(2) 活動の為に移動交通費・旅費などの経費は、参加会員の負担とさせていただきます。

4. グループの構成について:

(1) グループ活動は1チーム4～6名程度とさせていただきます。

(2) 参加メンバーの中から、「リーダー」「サブリーダー」「書記」を互選する事とします。

(3) 日本ユニシスグループより選出されたアドバイザーが参加し、研究活動を支援します。

5. 年間活動スケジュール:

開催予定日	内容
2020年6月25日(木)	発足式&第1回会合
2020年9月	活動内容の中間報告会
2021年1月	九州・沖縄支部発表会
2021年1月下旬	研究活動報告書提出
2021年3月5日(金)	全国研究活動成果発表会

6. 活動期間と会合回数:

(1) 活動期間は本年6月から翌年2月までとします。(発表会を除く)

期間中、月1～2回程度の会合(半日)を持ちますが、詳細はグループ運営の中で決定します。但し、会合時間は通常業務時間内とします。

(2) 活動自体は回数・時間を多く費やすことは決して良いことではありません。ご自分の業務に支障をきたす活動は本来の活動の形ではありません。参加メンバー皆様には限られた時間の中で効率よく活動を行っていただきますよう、予めご理解いただきご参加下さいますようお願いいたします。

(3) 発足式&第1回会合:参加メンバーの方は、ご出席をお願いいたします。

日時:2020年6月25日(木)16:00~17:30(予定)

会議形式:Microsoft Teams 会議 ⇒ 詳細は後日参加メンバーにご案内いたします。

7. 活動運営について:

- (1) 研究活動の企画・運営は参加メンバーの自主運営とします。
- (2) 9月に活動内容の中間報告を実施していただきます。
- (3) 来年1月下旬に活動成果を、「研究活動報告書」として提出していただきます。
- (4) 「全国研究活動成果発表会」での発表をよりよいものにするため、来年1月に九州・沖縄支部会員、および日本ユニシス九州支社社員向けの発表会をしていただきます。
- (5) 来年3月5日(金)に「全国研究活動成果発表会」として、九州・沖縄支部以外の方々に向けて発表をしていただきます。
- (6) 特に優れた成果には、「全国カンファレンス」等で発表していただく事があり、「エッカート賞」やその他入賞制度の受賞候補として推薦されます。
- (7) ご報告いただいた研究活動成果(研究活動報告書、プレゼン資料その他発表資料を含みます。)の著作権は著作者に帰属するものとします。但し、著作者は、ユニシス研究会が情報発信する機関誌や Web サイトにおいて、著作者の研究活動成果の掲載・配布に関する権利(個人名・会社名・所属先の公開を含みます。)をユニシス研究会に無償で許諾するものとします。

8. 申込方法:

添付資料Ⅲの「参加申込書」にご記入の上、2020年6月18日(木)までに、FAX またはメールでお送りください。

9. お問い合わせ先:

〒812-0011 福岡市博多区博多駅前1-1-1 博多新三井ビル
日本ユニシス(株)九州支社内 ユニシス研究会 九州・沖縄支部事務局
TEL:092-517-6701 FAX:092-471-8044
E-mail:juua-kyushu-info@ml.unisys.co.jp

2020年度研究活動テーマ案

キーワード	募集対象	テーマタイトル(案)	活動内容(案)
1 パンデミック	ユーザー企業の情報システム部門	パンデミック発生！その時IT部門はどうする？	2020年は新型コロナウイルス感染症の対策として、時差通勤や在宅勤務を行うような要請が政府からも推奨されているが、いざ行おうとすると、企業によってはPCをシンクライアント化していないために在宅勤務が出来なかったり、社内と社外で利用回線が異なるため、社員全員が社外でPC端末を使うとネットワーク的に問題があるなど、想定外の課題が発生し、速やかに対処できない企業も出てくる。IT部門として、普段からどういう準備を進め、発生した時にはどのような事を行うのか、また将来、IoTなどうまく活用するアイデアがないかなど、IT目線で探求する(オリンピックや万博のような話を絡めても可)。
2 5G	ユーザー企業の情報システム部門 企画部門	5G/ローカル5Gで社会がどう変化するか、5G環境を活用した新たなサービス、ビジネスの創出	最近、5G/ローカル5Gの実証実験が各種分野で行われている。5Gは、次世代の通信インフラとして、「高速大容量」、「高信頼・低遅延通信」、「多数同時接続」という3つの特徴を軸に、社会に大きな技術革新をもたらすといわれている。中でも、ローカル5Gは、その利用局面もエンターテインメント、医療等多分野にわたり今後、大きな展開が期待できる。5G/ローカル5Gでインフラを含めて社会の変化について探求し、新たなサービスやビジネスを創出する。
3 サブスクリプション	ユーザー企業の情報システム部門	サブスクリプション型ビジネスを考える	ソフトウェアや音楽、動画などデジタルサービスでは当たり前となっている「サブスクリプション型ビジネス」であるが、既存のビジネスにおいてもデジタルトランスフォーメーションの波を受けて大きく変わろうとしている。この「必要に応じて必要な量だけのサービスを提供する」ビジネスモデルに代わるためにはどのような仕組みが必要になるか、どのように変えなくてはならないかを研究する。
4 eスポーツ	IT企画部門の管理者・担当者、事業部門	eスポーツによる地域創生	東京オリンピック開催を控え、新たなスポーツとして注目されている「e-スポーツ」。異業種参入などこれから大きなビジネスチャンスになっていく分野として注目されている「e-スポーツ」をテーマに、具体的に分野を取り上げて実現までに至るアイデアを研究する。
5 キャッシュレス	IT企業のSE ユーザー企業の情報システム部門	XXペイ社会に移行するには	日本のキャッシュレス化は世界の水準から大きく後れを取る。2019年時点でも25%前後という統計結果も出ている。これは中国の65%や韓国の90%超などと比較すると著しく低い。貨幣の信頼性の問題も絡むが、販売物流ビジネスのスマート化を図るには非常に重要なソリューションである。昨今各社が競ってサービスを打ち出している「何とかPay」は、少々乱立気味ではあるが、これらのサービスの特徴を分析し、日本のキャッシュレス化を推進するためのアイデアを探求する。
6 AI	情報システム部門 企画部門、事業部門 業務部門	人工知能を活用した企業内におけるデジタルトランスフォーメーション	データと人工知能を活用した、業務の生産性向上や省人化を始めとする、社会課題を解決するサービス創出について、調査・検証を通じて、次業務への適用や活用に向けた提言や実証を行う。画像認識や音声認識等の活用事例で深層学習への注目が広がる中、要素技術やツールに関する情報は増えてきているが、深層学習を適用する際のプロセスについては情報が少なく、担当者のスキルやAIベンチャー等の専門家に依存するところが大きい。そこで深層学習の業務適用に向け、必要なプロセスや手順等のワークフローについて取りまとめる。
7 音声認識	IT企画部門の管理者・担当者	音声認識技術を活用したビジネスの創出	AIアシスタント機能を搭載するスマートスピーカーが急速に普及し注目されている。「音声認識技術」の最新動向や活用事例について調査し、業務効率化への活用や新たなビジネスの方向性について研究する。
8 データの利活用・デジタル人材の育成	情報システム部門 事業部門 人材育成部門	企業内・外に存在するデータを組み合わせて、新ビジネスについて考える	内閣府が提唱するSociety5.0実現に向けて、PDS(Personal Data Store)、情報銀行、データ取引市場という新たなデータ流通の仕組み・データ利活用が活性化してきており、既存の企業内データ、オープンデータや新たに収集できるデータを組み合わせることで、新ビジネスの創出や社会課題の解決などを検討する。またビッグデータ活用におけるデータサイエンティストやデータアナリストなどのデジタル人材育成の重要性が高まっています。それら人材育成における課題や育成方法について調査・検討する。
9 品質管理 (プロジェクト管理)	ユーザー企業の情報システム部門	結構どこにでもある「動かないコンピュータ」問題 我々はなぜ同じことを繰り返してしまっているのか？再発防止はできないのか？ 苦戦プロジェクトから学ぶ品質管理について研究する。	昨今、複雑で高度なシステム化案件が増える中、日経コンピュータ誌の記事「動かないコンピュータ」でのできことは、まさに他人事ではないと感じている。この会社でも動かないまでも、相当苦戦したITプロジェクトがあると思われる。そこで、それぞれの会社から過去の苦戦したITプロジェクトの分析結果を寄せ集め、今後同じような苦戦や失敗を繰り返さないために「教訓集(解説含む)」を作る。例えば、「ストコン開発をなめると大苦戦」、「プロジェクトの期間が長すぎると迷走する」、など。真の原因を簡潔なメッセージ化するために、問題分析手法、失敗学(上位概念化)などの手法を学ぶ機会にもなると良い。
10 セキュリティ	ユーザー企業の情報システム部門	働き方改革における企業のセキュリティ対策	企業に働き方改革が求められるようになり、様々な機器、ワークスタイルで時間、場所に囚われずに仕事ができるような環境が整ってきている。その一方で、企業の機密情報や個人情報などが漏えいする危険性は高くなる。このようなワークスタイルの変革の中で企業が実施すべきセキュリティ対策について研究する。
11 高齢者活用	ユーザー企業の情報システム部門、人事総務部門	高齢者(再雇用)の有効活用	各企業は、再雇用により高齢者社員をどう活用するか試行錯誤しながら取り組んでいる。今後定年延長などにより益々人数が増加して環境において、会社、高齢者社員、現役社員すべてがハッピーになる活用策を研究する。(IT業界)
12 働き方改革	ユーザー企業の情報システム部門	働き方改革へのITの果たす役割	ワークスタイル変革の流れの中で、2020東京オリンピック開会式を「テレワークデー」と定め、業務実態に合わせて、在宅勤務/モバイルワーク/サテライトオフィス勤務等のテレワーク勤務を推奨するなど、「働き方改革」は早期実現が必要な重要課題である。現在はスマートフォンなどのモバイルデバイスや最近ではウェアラブル端末やAIスピーカーなど身近になりつつあるデバイスの変化にも対応しそれらを利用した働き方の見直しも想定される。又、総務省も企業が働き方改革を進める中で、ビジネス用途のチャットツールを導入する企業は増加していくと予想しており、今後も注視していく必要があると展望している。そんな中、活用シーンがどのように変化し、そこでITがどのような役割を果たすことができるのかについて探求する。

<添付資料 >

ユニシス研究会 九州・沖縄支部事務局 行

FAX:092-471-8044

<mailto:juua-kyushu-info@ml.unisys.co.jp>

ユニシス研究会『九州・沖縄支部研究活動』 参加申込書

個人情報のお取り扱いについて

ご入力いただくお客さまの個人情報は、日本ユニシス株式会社、並びに当社のグループ企業、及びユニシス研究会が、1)本セミナーに関する連絡・確認、2)関連製品・サービスに関する情報提供、3)イベント・セミナーなどのご案内および4)マーケティングの目的で利用させていただきます。

ご入力いただいたお客さまの個人情報については、当社の個人情報保護基本方針に従い、適切な管理と必要な保護を行います。なお、個人情報の開示、訂正、削除、情報提供の停止などのお申し出、その他ご質問がございましたら、下記のお問い合わせ先までご連絡いただくか、当社ホームページからお申し出ください。また、当社グループ企業への個人情報の提供、共同利用と、各社の個人情報保護方針については、次のリンク先をご覧ください。

- ・[当社グループ企業への個人情報の提供、共同利用について](https://www.unisys.co.jp/com/privacy/o_group.html) https://www.unisys.co.jp/com/privacy/o_group.html
- ・[当社グループ企業：各社個人情報保護方針](https://www.unisys.co.jp/com/group.html) <https://www.unisys.co.jp/com/group.html>
- ・[ユニシス研究会：個人情報保護方針](https://www.yuni-ken.gr.jp/privacy.html#1) <https://www.yuni-ken.gr.jp/privacy.html#1>

以上の個人情報に関する取扱いにご同意いただけましたら、次の「同意する」にチェックをお願いします。

同意する

【個人情報管理者】ユニシス研究会事務局 事務局長
【お問い合わせ先】ユニシス研究会九州・沖縄支部事務局
電話：092-517-6701 E-mail：juua-kyushu-info@ml.unisys.co.jp

会社名			
所属部署/役職名			
(フリガナ)			
お名前			
勤務先住所	〒 -		
電話番号		FAX番号	
E-Mailアドレス			